

食品流通の合理化に向けた 取組について



2019年11月

農林水産省
食料産業局

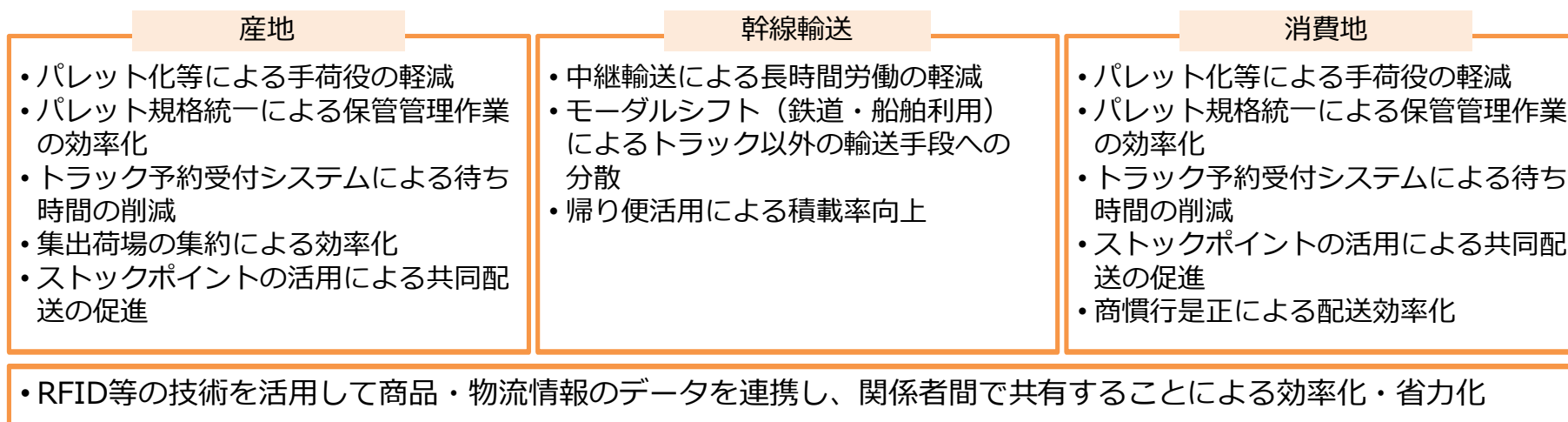


食品流通合理化検討会

趣旨

- トラックドライバーの人手不足が深刻化する中で、国民生活や経済活動に必要不可欠な物流を安定確保するには、**サプライチェーン全体で物流改善に取り組む必要**。
- 特に食品の輸送は、手荷役作業が多い、小ロット多頻度輸送が多い等の事情から、取扱いを敬遠される事例が出てきている。
- また、食品ロス削減への食品関連事業者による積極的な取組が求められている。
- このため、**食品流通の合理化**について、関係者による**検討会を設置し、具体的な方策を検討するとともに、その実現を図る**。

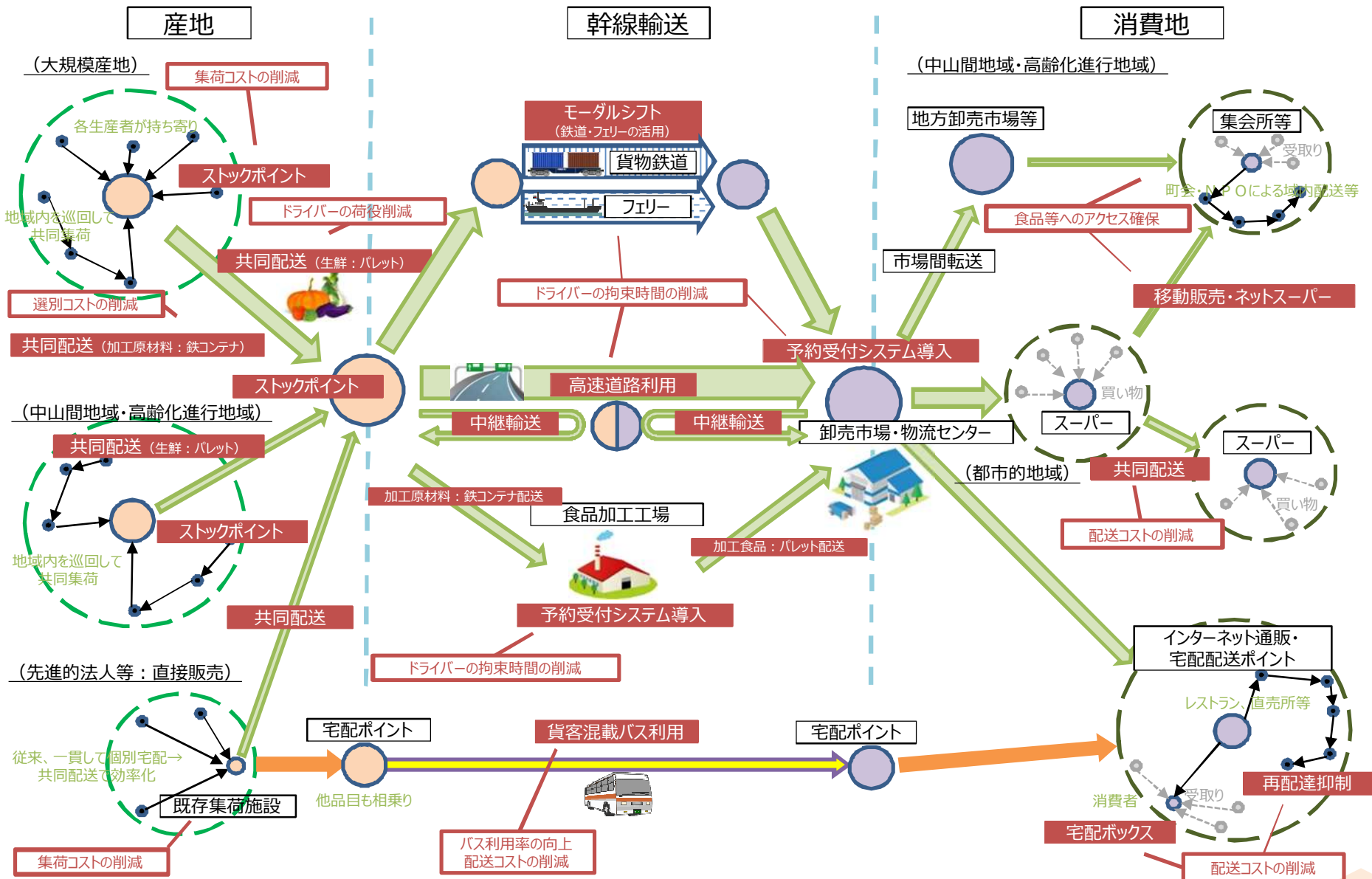
取組方向



食品流通合理化検討会のメンバー（設置予定）

農水省、経産省、国交省、発着荷主関係団体、運送業関係団体 等

食品等の流通合理化の全体像



現在進めている取組①



トラック予約受付システム

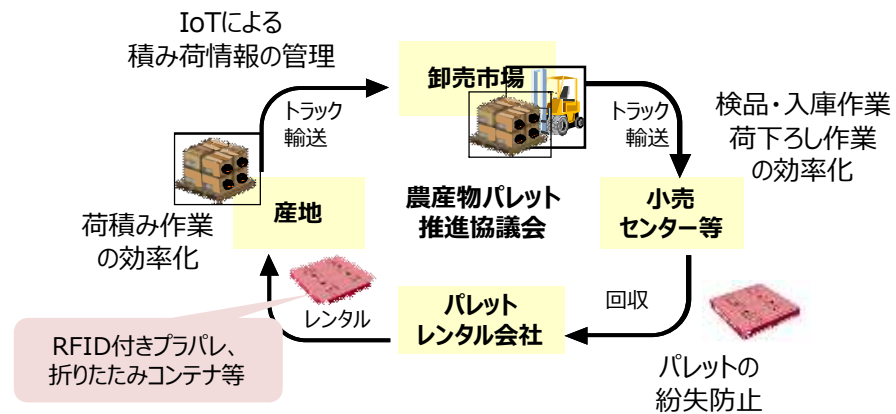
- ・産地の「効率的な集荷システム」
- ・物流センターへの「到着予約システム」



トラックバースの空き時間を見える化し、ドライバーがスマートフォンなどの端末から事前予約できるシステム

パレット化

- ・荷積み・荷下ろし作業の機械化
- ・RFIDを活用した積荷・パレットの管理



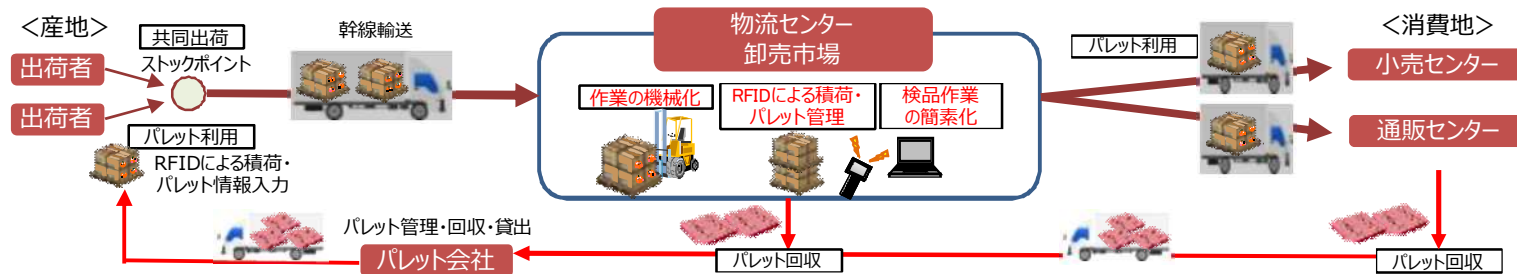
農産物パレット推進協議会（代表理事：全農）

- 正会員：業界団体、JA県本部・経済連、大規模卸売業者、レンタル事業者
- 利用者会員：産地JA、中小卸売業者、物流業者
- 賛助会員：物流業者、仲卸業者、小売業者、実需者

現在進めている取組②

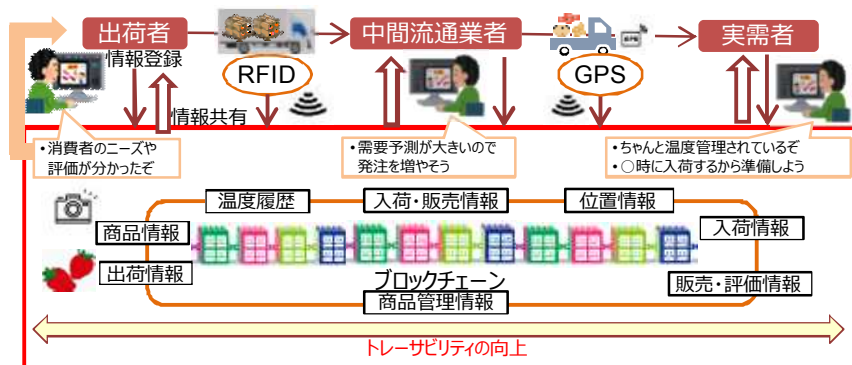
物流プラットフォーム

RFIDを活用した積荷・パレットの管理等により物流情報の共有化や業務の自動化を推進し、労働時間の短縮を実現。



商品管理プラットフォーム

取引情報をリアルタイムで共有するとともに、過去のデータを蓄積し、トレーサビリティの向上、需要予測等に基づいた計画的な発注・出荷を実現。



決済プラットフォーム

ブロックチェーン等を活用して受発注業務の共通化を図り、コスト低減や決済データ解析を実現。

